

凡例

1. 地盤沈下

①(2)	累積沈下量(cm)
■	-100cm以上
■	-50~-100cm
■	-25~-50cm
■	-10~-25cm
■	-5~-10cm
■	0~-5cm
■	0cm未満

①水準点・水準基標番号
②集計期間
③集計期間の累積沈下量(単位:cm)
④集計期間の最大沈下量(単位:cm)
⑤集計期間の最大沈下量(単位:cm)

● 集計対象外とした水準点・水準基標
--- 水準点・水準基標管理
--- 境界

【資料】
神奈川県・横須賀市・川崎市(1966) 京浜地帯地盤沈下調査報告書、神奈川県。
神奈川県・横須賀市・川崎市(1970) 京浜地帯地盤沈下調査報告書、第二次調査資料編、神奈川県。
神奈川県(1976) 京浜地帯地盤沈下調査報告書、第三次報告書(昭和47年度~昭和49年度)。
神奈川県(2009) 地盤沈下等量線図。

【注】
集計期間中に修訂・改訂があった水準点・水準基標および集計開始年に範囲がなかった水準点・水準基標は集計対象外とした。
水準点・水準基標位置は現在のものを用いた。
川崎市の水準点名は現在のものを用いた。
現在の配点図にない水準点・水準基標は削除した。
集計期間中にデータ欠損があった地点の最大沈下量及び沈下年は○をつけて表示した。

累積地盤沈下量図 (cm)

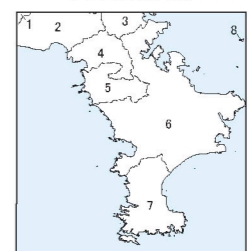


【資料】
関東地区地盤沈下調査調査協同会(1970) 地盤沈下等量線図、自昭和44年2月1日至昭和45年2月1日。
同協同会(1973) 地盤沈下等量線図、自昭和49年1月1日至昭和50年1月1日。
同協同会(1996) 累積地盤沈下量図、自昭和63年1月1日至昭和63年1月1日。
同協同会(2000) 累積地盤沈下量図、自昭和63年1月1日至平成10年1月1日。
同協同会(2003) 累積地盤沈下量図、平成10年1月1日至平成15年1月1日、日本地図センター。
同協同会(2008) 累積地盤沈下量図、平成15年1月1日至平成20年1月1日、日本地図センター。

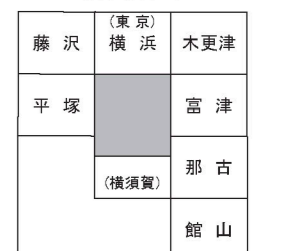
摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°
- 作業機関 東京カーグラフィック株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成12年修正
- 対応する二次メッシュコード 523944.523945.523964.523965.523974.523975

行政区画

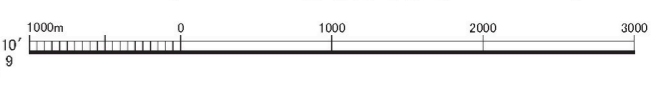


索引図



神奈川県
1. 藤沢市 2. 鎌倉市 3. 横須賀市 4. 逗子市
5. 三浦郡 6. 横須賀市 7. 三浦市
千葉県
8. 富津市

()内は所属20万分1地形図名



平成二十二年 度調査

平成二十三年 二月発行 国土交通省土地・水資源局